

根雨 小学校

18 人（順不同）



黒坂 小学校

11 人（順不同）



この春入学した小学 1 年生を紹介します
氏名は 22 ページに掲載しています



平成19年度一般会計当初予算 28億1450万円を計上

厳しい財政状況 約1億7千万円歳入が不足

平成19年度のまちの当初予算が、3月の町議会で承認されました。

単独自立の道を模索する中、少子・高齢化や国からの地方交付税の削減など、まちを取り巻く状況は以前にも増して厳しく、「地方の崩壊」といわれるように、こうした現象は全国的にも珍しくありません。

そうした状況にあつて、平成18年度の決算では約1億2000万円の赤字となることが見込まれています。昨年のまちづくり説明会などで示しているとおり、累積赤字の解消には長い時間がかかり、まちの皆さんには様々な負担をお願いしています。

平成19年度のまちの一般会計の予算規模は、約28億1450万円。昨年度当初予算に比べ7・74割の減となっています。財政規模が30億円を下回るのは平成2年以来的のこと。

また、今年度予算では、約1億7142万円の歳入が不足し、昨年度に引き続き、いわゆる「赤字予算」となっています。

超財政難とはいえ、住民サービスを低下させることはできません。昨年度以上に徹底した事業の見直しや合理化を考え、当初予算を編成しました。

一般会計予算 歳入

歳入全体の約4分の3を
依存財源に頼る

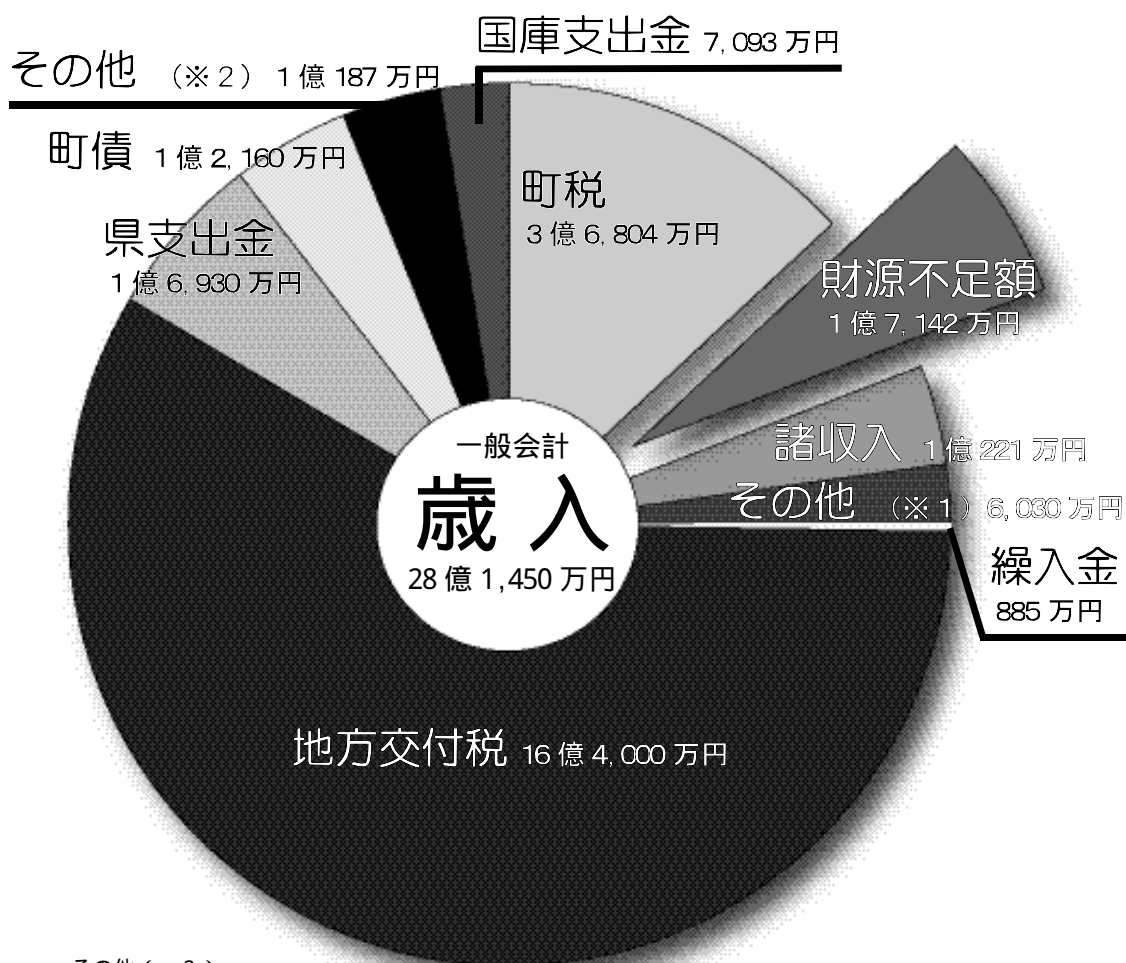
まちの一般会計の歳入（まちに入ってくるお金）は、自主的に収入できる自主財源（町税、分担金、負担金、使用料、手数料など）と、国・県から交付されたり割り当てられたりする依存財源（地方交付税、町債、国・県の支出金など）に分かれています。

平成19年度当初予算では、自主財源は、総額7億1080万円（昨年度実績見込より9781万円の減）を見込んでおり、歳入全体の25・26割を占めています。

依存財源は、地方交付税を

16億4000万円（昨年度実績見込より3289万円の減）、県支出金を1億6930万円（昨年度実績見込より2039万円の減）、事業を行うために計画的に資金を借り入れる町債を1億2160万円（昨年度実績見込より1億3580万円の減）を見込んでいます。総額では、21億370万円となり、歳入全体に占める割合は74・74割になります。

また、財源不足となった1億7142万円は、昨年度と同様、雑入として計上し、収支のバランスを取っています。詳しくは、次のページの表をご覧ください。



●その他 (2)

地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金
株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金
地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

●その他 (1)

分担金及び負担金、使用料及び手数料
財産収入・寄付金

平成 19 年度一般会計歳入予算集計表

(単位 : 千円、 減額)

科 目	本年度金額	前年度実績見込額 (3 月補正後数値)	比較増減	対前年度比 (増)
町 税	368,036	355,019	13,017	3.67
諸収入 (うち財源不足額)	273,622 (171,417)	240,522 (123,968)	33,100 (47,449)	13.76 (38.28)
繰入金	8,847	21,124	12,277	58.12
地方交付税	1,640,000	1,672,892	32,892	1.97
町 債	121,600	257,400	135,800	52.76
県支出金	169,299	189,693	20,394	10.75
国庫支出金	70,932	113,937	43,005	37.74
その他 (1)	60,298	191,950	131,652	68.59
その他 (2)	101,870	137,702	35,832	26.02
計	2,814,504	3,180,239	365,735	11.50

一般会計予算歳出

まちの借金返済額が歳出の4分の1を占める

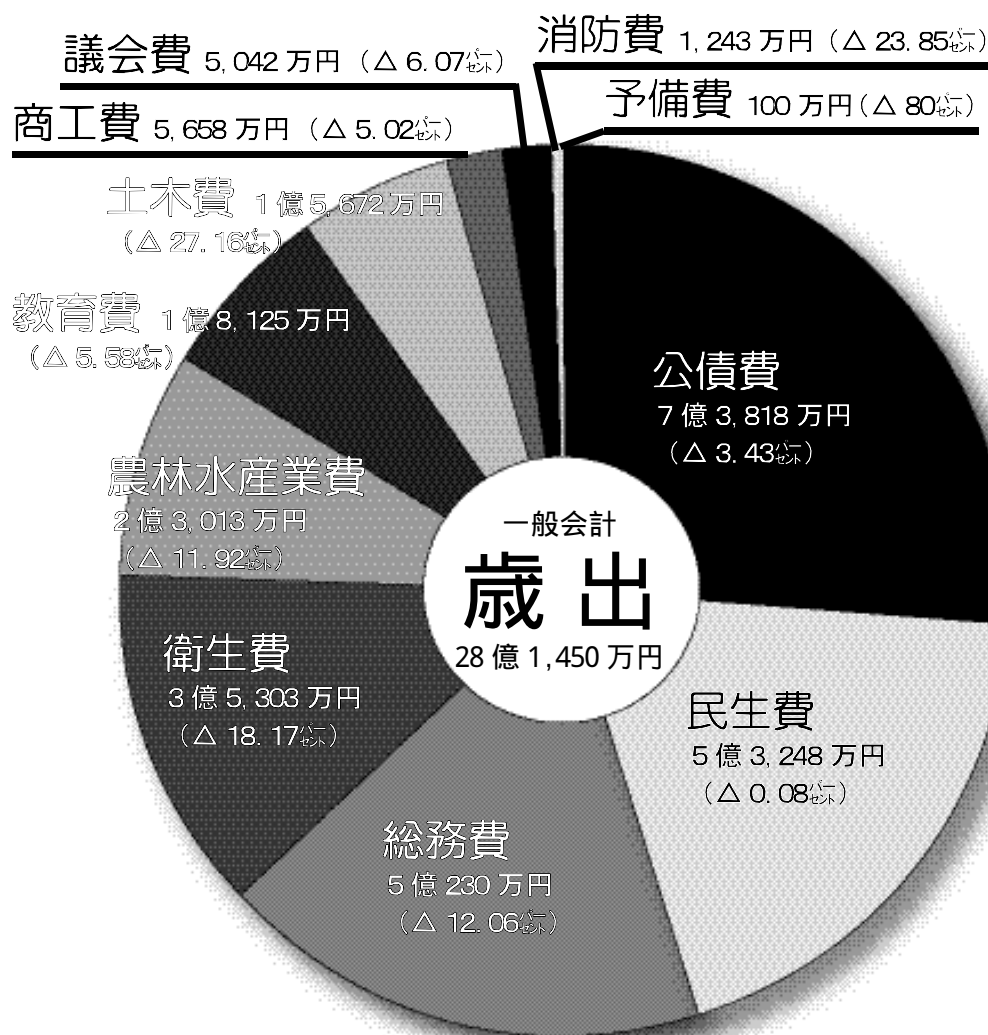
まちの平成19年度一般会計予算の歳出（まちが支払うお金）では、事業を行うために借り入れた町債の返済金である公債費に7億3,818万円を計上しています。これは歳出全体の26・22%を占めており、昨年度の実績見込額より約3%減少しているものの、最も割合が大きく、町財政を圧迫する大きな原因となっています。

そのほか、福祉や健康づくり、保育所運営などに使われる民生費を5億3,248万円、全般的な管理事務経費や広報、選挙事務などに使われる総務費を5億2,300万円としています。

また、予防接種や環境衛生などに使われる衛生費を3億5,303万円、農地保全、森林整備などに使われる農林水産業費を2億3,013万円、学校教育、社会教育に使われる教育費を1億8,125万円としていきます。

次いで、町道改良、除雪などを行う土木費に1億5,672万円、中小企業への支援などを行う商工費に5,658万円、議会運営を行う議会費に5,042万円、町消防団、防災センター管理などに使われる消防費に1,243万円をそれぞれ計上しています。

今年度の歳出予算は、昨年度実績見込みに比べ大幅に減額しています。詳しくは下のグラフをご覧ください。



(カッコ内は前年度実績見込額との比較)

財政難の解消へ、さらに努力が必要

平成 19 年度一般会計歳出予算性質別集計表

(単位：千円、減額)

科目	本年度	前年度実績見込 (3 月補正後数値)	比較増減	対前年度比 (係数)
人件費	601,348	622,525	21,177	3.40
物件費	233,825	246,565	12,740	5.17
維持補修費	14,822	17,599	2,777	15.78
扶助費	153,620	144,524	9,096	6.29
補助費	549,330	659,478	110,148	16.70
普通建設事業費	43,810	187,137	143,327	76.59
災害復旧事業費	0	77,356	77,356	100.00
公債費	748,045	772,753	24,708	3.20
積立金	938	709	229	32.30
貸付金	53,567	53,625	58	0.11
繰出金	414,199	392,968	21,231	5.40
予備費	1,000	5,000	4,000	80.00
計	2,814,504	3,180,239	365,735	11.50

膨らむ累積赤字
3年後に4億8600万円

まちの平成18年度決算では約1億2400万円の赤字が見込まれています。

昨年11月に開いたまちづくり説明会や、広報ひの平成18年12月号でお知らせした今後10年間の収支推計にもあるとおり、今後数年間累積赤字は増え続け、平成22年度には約4億8600万円の累積赤字の計上が見込まれます。

この背景には、まちが各種事業を行うために借りたお金の返済がピークに達していること、まちの収入の約6割を占める地方交付税が年々減少していることが挙げられます。

特別会計への繰出金も増加
事業実施に工夫を

また、まちの一般会計を圧迫している原因の一つとして、特別会計への繰出金があります。

す。繰出金は、国やまちの基準によって6つの特別会計に繰出すお金で、その額は年々増加しています。簡易水道、公共下水道事業、農業集落排水事業の3会計では、施設整備などの借入金の返済時期がピークを迎え、また、国民健康保険、老人保健、介護保険の3会計では医療費などの給付費が増加しており、そのことが繰出金増加の要因になっています。

特別会計への繰出金を下げるため、まちでは公共下水道、農業集落排水への加入を促進したり、医療費を下げるため、介護予防や健康づくりに取り組むなど、さまざまな工夫をしながら事業を進めています。(特別会計予算は7ページをご覧ください)

いずれにしても、再建団体に陥ることだけは避けなければなりません。一丸となって財政建て直しに努力していきます。

今年度予算に向けて見直したこと

歳出を抑えるため
徹底的に事業を見直し

今年度の予算編成では、事業の必要性・効果などをあらためて見直し、昨年度に引き続き歳出の削減を図りました。今年度から新たに削減する内容は下の表のとおりです。人件費については、昨年度に引き続き、職員は平均10^{パーセント}を減額、町長は約30^{パーセント}、助役は総額約12^{パーセント}、教育長も総額9・7^{パーセント}の減額を行います。

皆さんにも負担をお願い

まちでは、歳出削減のほか、固定資産税率や公共下水道・農業集落排水使用料の引き上げなど、昨年度から皆さんに負担をお願いしています。今年度は7月からごみ袋・シールの値上げを行います。財源確保のため、ご理解とご協力をお願いします。

平成 19 年度予算で見直し・削減を図った主なもの

項 目	内 容	削減額 (千円)
議員給与	平成 18 年度からの 7 ^{パーセント} 削減に加え、さらに 5 ^{パーセント} を削減し、計 12 ^{パーセント} の報酬削減を行う。また、議員定数を 12 人から 10 人に削減	1,987
文書発送	職員による文書配布などの実施強化	380
庁舎管理	各種点検委託を他施設との一括契約とし、経費を削減	214
総合行政情報システム管理	県情報センターの財務サーバーを利用。黒坂支所業務システムを廃止	3,385
電話・電気料金の削減	契約変更による電話料金の削減。昼間消灯による電気料金の削減	504
納税報奨金の縮減	100 ^{パーセント} 納付：3 ^{パーセント} を 2.5 ^{パーセント} 、100 ^{パーセント} 未満：0.9 ^{パーセント} を 0.7 ^{パーセント} に減額	301
町医療費助成の廃止	身体障害者手帳 3・4 級所持者、療育手帳 B 所持者などの医療費助成を廃止	101
保育所嘱託員の削減	黒坂保育所の入所対象年齢引き上げにより嘱託員を削減	4,328
環境衛生費用の削減	業者負担による公共下水道減溶化施設の増設による汚泥の減少による負担金の減額。合併処理浄化槽の設置や公共下水、農業集落排水施設接続によるし尿の減溶	8,039
町農業委員数の削減	時期改選期から委員数を 13 人から 10 人へ削減	616
有害鳥獣駆除対策	日野川左岸事業による鳥獣害侵入防止柵の設置事業の普及による事業費の見直し	800
公園施設管理費用の削減	公園施設の草刈作業などについてボランティアを募集	806
除雪費の削減	消耗品費の一括納品、除雪路線の組み合わせの精査による運転委託料・機械借上げ料の減額	1,460
隣保館等職員の報酬削減	隣保館長、隣保館指導員、生活相談員、人権教育推進員の報酬月額の見直し	1,116
小中学校教育振興費の減額	準用保護児童生徒就学援助費の給食支援の見直し。児童生徒の町営バス定期券の期間延長による通学費補助金の削減と事務の簡素化	1,376
文化センター管理	日常清掃を職員で行い、清掃業務委託料を削減	394
図書館管理	図書情報の書誌情報入力を業者委託から職員実施に変更	658

平成19年度 まちの主な事業

担当課	事業名	予算額 (千円)	担当課	事業名	予算額 (千円)
総務企画課	広域行政(県西部広域行政 管理組合負担金)	143,000	産業振興課	農地水環境保全向上対 策(農村の環境を守る地 域活動への交付金)	678
	過疎バス対策	17,418		森林整備地域活動支援	15,501
	選挙(知事、県議、町議、 町農業委員、参議院)	30,789		大規模林道日野金城線 負担金	21,567
住民課	不動産鑑定委託(平成 21年度の固定資産評価 替えに伴う標準宅地鑑定 評価の実施)	3,696		広域基幹林道宝仏山線	4,750
	保育所管理運営	99,380		中小企業小口融資貸付 (中小企業に対する資金 の貸付け)	53,117
健康福祉課	老人保健(健康手帳の交 付、健康審査など)	10,393		除雪	12,208
	予防接種	5,381	教育委員会	町民ミュージカル補助	550
	障害者福祉(施設への 入・通所支援など)	90,241		特色ある学校づくり交付金	1,400
	三町衛生施設組合負担 金(し尿・汚泥・ごみ共 同処理事業)	83,951		ひのがわ子ども教育支援 センター運営協議会負担 金(不登校児童・生徒への カウンセリングなどの支援)	300
産業振興課	中山間地域総合整備 (日野川左岸地域の生活 環境基盤などの整備)	8,387		少人数学級実施	2,000
	中山間地域等直接支払 (地域での農地保全活動 への交付金)	44,094		日野郡地域指導主事設 置(学校・地域と連携し た家庭教育の指導を行う 指導主事の設置)	1,000
	県営奥日野広域農道整 備負担金	11,014		ブックスタート事業 (乳幼児期から本に親し んでもらうため、健診時 に絵本等をプレゼント)	34
	全国和牛能力共進会对 策(10月に県西部で開 催)	1,120			

特別会計の予算額比較表

(単位：千円)

会計名	平成 19 年度 当初予算	平成 18 年度 当初予算	比較	対前年度比 (パーセント)
国民健康保険	430,064	416,316	13,748	3.30
老人保健	850,056	849,987	69	0.01
介護保険	548,834	516,541	32,293	6.25
簡易水道	160,322	140,645	19,677	13.99
公共下水道 事業	144,171	136,692	7,479	5.47
農業集落排水 事業	67,340	61,249	6,091	9.94
合計	2,200,787	2,121,430	79,357	3.74

一般会計とは別に、それぞ
れの目的で運営する6つの特
別会計予算の内訳は、国民健
康保険特別会計が4億300
6万円、老人保健特別会計が
8億5006万円、介護保険
特別会計が5億4883万円
となりました。

また、簡易水道特別会計は
1億6032万円、公共下水
道事業特別会計が1億441
7万円、農業集落排水事業特
別会計が6734万円となり
ました。

特別会計予算



ルーターを使い木材を削る西村さん。思い通りに仕上げるため刃も自ら調整

木工品づくりひとすじ33年

■鳥取県伝統工芸士に認定

西村孝美さん（福長）



地元産の材料にこだわり
創作を続ける

3月22日、県内で工芸品を作る人の中で優れた技術・技法をもつ伝統工芸士に、西村孝美さん（福長）が認定されました。町内の伝統工芸士は西村さんが初めて。

西村さんは、33年前からルーター（電動彫刻工具）を使った木工品の制作を始めました。「ルーターを使いこなすのは本当に難しく、自分の納得いくものができるまでには10年かかりましたね」と西村さん。

材料のほとんどは町内産のケヤキ・クワ・スギなど。「氣候の厳しい日野町で育ったせいか、木目が美しく扱いやす



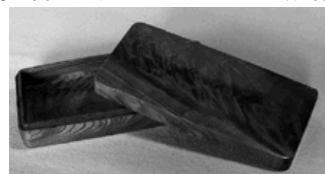
いのが特長です」。
西村さんが作るのは盆や栗すり箱などの割物や挽物ひきものが中心。さまざまな注文に応じて作業場でほぼ毎日作業をして

います。「作業で一番大切なのは精神を集中させること。ちよつと考え事をするだけでも手元が狂うことがあるので、特に神経を使う

細かい作業をするときは、作業場の中から鍵をかけ、誰も入ってこないようにしています。また、精神集中のため、お寺に座禅を勉強しに通った時期もありました」と、苦勞にもじませます。

そんな西村さんに木の魅力を尋ねると、「木だけを使つた家を米子に新築しましたが、木に囲まれていると家の中の植物が元氣になったり、自分の体調も良くなっている気がします。そんな不思議な力が木にはあると思います」と話しました。

これからの目標については、「認定していただいたのを機に、時間をかけて大規模なものをつくろうと計画しています。また、タオル掛け・タオル入れなど、日常的に使える便利なものの開発をしていきたいですね」と意欲十分。今後の活躍が期待されます。



まちの課題など話し合う

第2回日野町まちづくり町民会議

3月28日、第2回の日野町まちづくり町民会議が町役場で開かれました。

はじめに今年度予算について説明

会議に先立ち、松本豊文委員長があいさつし、「日野町はいろいろな面で財政が厳しく、明るいまちづくりのために協力しあわなければならぬ。この会での意見をまちが吸い上げながら良い方向へ向けてほしい。前向きな意見をどしどし出していきましよう」と話しました。

今回の会議では、はじめに、3月23日に町議会で承認された、まちの平成19年度予算の概要について吉留助役からの説明がありました。

委員からごみ処理について提案される

続く意見交換では、松本洋

一委員（根雨）が、ごみの分別を徹底して経費削減に成功した徳島県佐那河内村の事例を紹介、日野町で取り組むことができればと提案がありました。

佐那河内村は、面積42・3平方^キ、人口約2800人の小さな村。平成14年から、ごみの徹底分別の取り組みを始め、現在では村内の全世帯が33品目の分別に地域ぐるみで取り組んでいるとのこと。それにより、ごみの処理費用や人件費など、2年間で約1300万円の経費が削減されたということです。

この提案をきっかけに、委員どうしで身近なごみ問題についての意見が出されました。「高齢者世帯にとってはごみ出しもひと苦労。町民どうしのコミュニケーションで助

け合うことができればいいと思う。また、助け合わなければならない時期に来ていると思う」などの意見や、「地域での一斉清掃の際、古タイヤな

どが不法投棄されているのを見つけたが、どこに連絡すればいいのか」との意見もあり、まちからは「不法投棄を見つけたときは、町道なら町、河川なら県など、管理者のところに連絡してもらえばよいが、とりあえず役場に連絡したければ対応します」との回答がありました。

活発な意見交換
委員から厳しい意見も

続く意見交換の中で、委員からは「この会議の場で話をしても、話をしただけの会になるのではないか。この会議の結果をどう町民に伝えるのか。そうした連絡体制を考えていかなければ」との意見がありました。

町長は、「この会議で出された意見の中で、まちの施策に取り入れられることはすぐに取り入れ、お金のかかることについては審議をしていきます。また、この会議の結果は広報ひのに掲載し、町民の皆さんに発信していきます」と回答しました。

このほか、「住民負担はわかるが、町内にお金を稼げるところは皆無に等しい。企業誘致などを考えたい」との声に、「企業誘致はたえず努力していますが、今ある企業も大切にしたいです。町内の企業として日野病院や老人保健施設などの雇用も考えられます」など、熱心に意見交換されました。

この後は、今後の会議の進め方について審議され、次回の会議を5月中旬に開くことになりました。



積極的に委員からの提案が出されました

■教育委員会からのお知らせ

平成19年第4回町教育委員会開催

4月6日、平成19年第4回の町教育委員会を開き、次の6件の議案について審議、承認されました。

議案：町人権センター設立検討委員会設置要綱の廃止について 町人権センター条例が3月議会でも承認され、4月から人権センターが設立されましたので、設立検討委員会はこれをもって終了とします。

議案：町立小中学校管理規則の一部改正について 学校栄養士の職名で、学校栄養主査とあったものを廃止、また、学校の事務職員も事務主査を廃止し、事務主幹及び事務副主幹の職名を追加するものです。

議案：平成19年度町立学校評議員の委嘱について 平成19年度の各小・中学校の学校評議員を委嘱しました。地域住民らの意見を学校運営に生かす学校評議員制度です。評議員の皆さん、よろしくお願いします。

議案：平成19年度町立学校主任等の任命について

議案：平成19年度町立学校司書教諭の任命について 議案、については、小・中学校の今年度の校務分担を決め、教諭に任命しました。

議案：教育施設の防火管理者の任命について 職員の異動により、町公民館、下榎集会所などの防火管理者を変更、新たに任命しました。

子ども教育支援センターを新たに設置

根雨小学校隣り（旧給食センター）に設置されていた県の不登校児童・生徒の適応指導教室「わかあゆ教室」が、4月から新しく日野郡3町と伯耆町で運営する、ひのがわ子ども教育支援センターとして設置されました。カウンセリングや諸活動を通じて学校への再登校を支援していきます。保護者からの相談も受け付けます。

町子ども育成会議からの提案

町教育委員会では、まちの将来を担う子供たちのために必要な教育環境や施策について協議・研究いただくため、町子ども育成会議を設立しました。

子ども育成会議では、一年間話し合いを重ね、一定の提言をまとめることとし、できることはすぐに提案していきます。

第2回会議での提言は、「第3日曜日は家庭の日」の運動を再開すること。「ノー・テレビデー」を目指し、テレビの見過ぎ、テレビゲームのやり過ぎについて各家庭で話し合っ少なくていくことが提案されています。

特に、乳幼児の心身の障害の原因にもされる、「テレビに子守りをさせるな」といわれるテレビ漬け生活の改善、テレビを見る時間の縮小など、児童・生徒の「テレビ脳」・「ゲーム脳」による悪影響について、家庭内で話し合っいきましょう。

■町人権センターを設置



部落差別をはじめ、あらゆる人権問題について学び、交流の輪を通じて、明るく心豊かな愛ある地域社会づくりを進めるため、4月から下榎隣保館に「町人権センター」を設置しました。どうぞよろしくお願いします。

4月1日付けで、山根美奈子さん（野田・新任）と鳥居良光さん（黒坂・再任）が、国から人権擁護委員に委嘱されました。

まちでは、すでに山田厚弘さん（津地）が委嘱を受けており、町内では3人の人権擁護委員が、差別のない明るい社会の実現に向けて、



山根美奈子さん



鳥居良光さん



山田厚弘さん

人権相談や街頭広報など人権尊重の啓発活動に励んでいます。

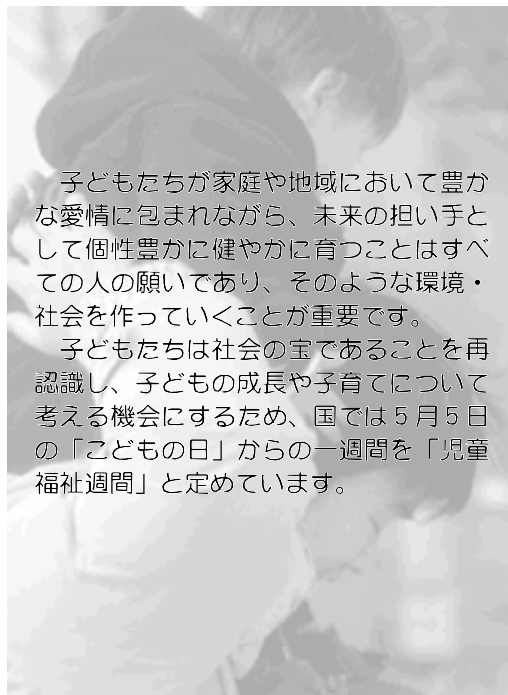
人権相談は、毎月1回、山村開発センターで開いています。詳しくは、23ページ「くらしのカレンダー」をご覧ください。

人権擁護委員を委嘱
人権問題についてご相談ください

■ 5月5日～11日は児童福祉週間 安心して子育てができる社会へ

子どもたちが家庭や地域において豊かな愛情に包まれながら、未来の担い手として個性豊かに健やかに育つことはすべての人の願いであり、そのような環境・社会を作っていくことが重要です。

子どもたちは社会の宝であることを再認識し、子どもの成長や子育てについて考える機会にするため、国では5月5日の「こどもの日」からの一週間を「児童福祉週間」と定めています。



ご利用ください
児童家庭相談

近年、少子化や核家族化の進行、共働き家庭の一般化により、子どもたちをめぐる環境は大きく変化しています。家庭や地域の子育て機能の低下に伴い、児童虐待や不登校児が増加しています。

このような状況を背景に、子育てや児童虐待については住民にとってより身近な市町村も相談窓口となりました。これまでの窓口であった児童

相談所は専門性の高い困難事例への対応や、市町村の後方支援といった役割を担うこととなりました。

困ったときは一人で悩まず、まずご相談ください。秘密は固く守ります。

児童虐待に気づいたら

平成16年の児童虐待防止法の改正により、保護者以外の同居人による暴力の放置や配偶者に対する暴力が子どもに与える心理的外傷も児童虐待

にあたることが明記されました。また、児童虐待を発見した人は誰でも市町村や児童相談所へ通告することが義務付けられました。虐待が疑われる場面がありましたら、迷わずすぐに連絡をしてください。

児童虐待は子どもの人権を著しく侵害するものです。親はしつけのつもりでも、子どもの側からすると心身に悪影響を被れば、それは虐待になります。次世代を担う子どもたちの健全な育成のためには、彼らにとっての最善の利益を第一に考え、一人の人間として尊重することが何より重要です。

また、まちでは虐待をはじめとする保護を要する児童などの協議の場として「日野町福祉のまちづくり推進会議」を活用し、関係機関と連携して早期発見や保護を図ります。

■相談・連絡先■

役場健康福祉課（電話 72 0 3 3 4）
米子児童相談所（電話 0 8 5 9 3 3 1 4 7 1）

憲法週間 5月1日～7日

昭和22年5月3日、「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」を基本原則とする日本国憲法が施行されたのを記念し、毎年5月1日～7日は「憲法週間」に定められています。週間中は、全国でさまざまな行事が開かれます。

県西部では次の行事が開かれます。

■鳥取地方法務局による特設人権相談所

会 場 山村開発センター
日 時 5月7日（月）午後1時～午後3時
問合せ 鳥取地方法務局人権擁護課
（電話 0857-22-2289）

■裁判傍聴・裁判所見学会

会 場 鳥取地方・家庭裁判所米子支部
日 時 5月11日（金）午前9時10分～正午
定 員 30人
申込先 鳥取地方裁判所米子支部庶務課（電話 0859-22-2205）

■県弁護士会による無料法律相談

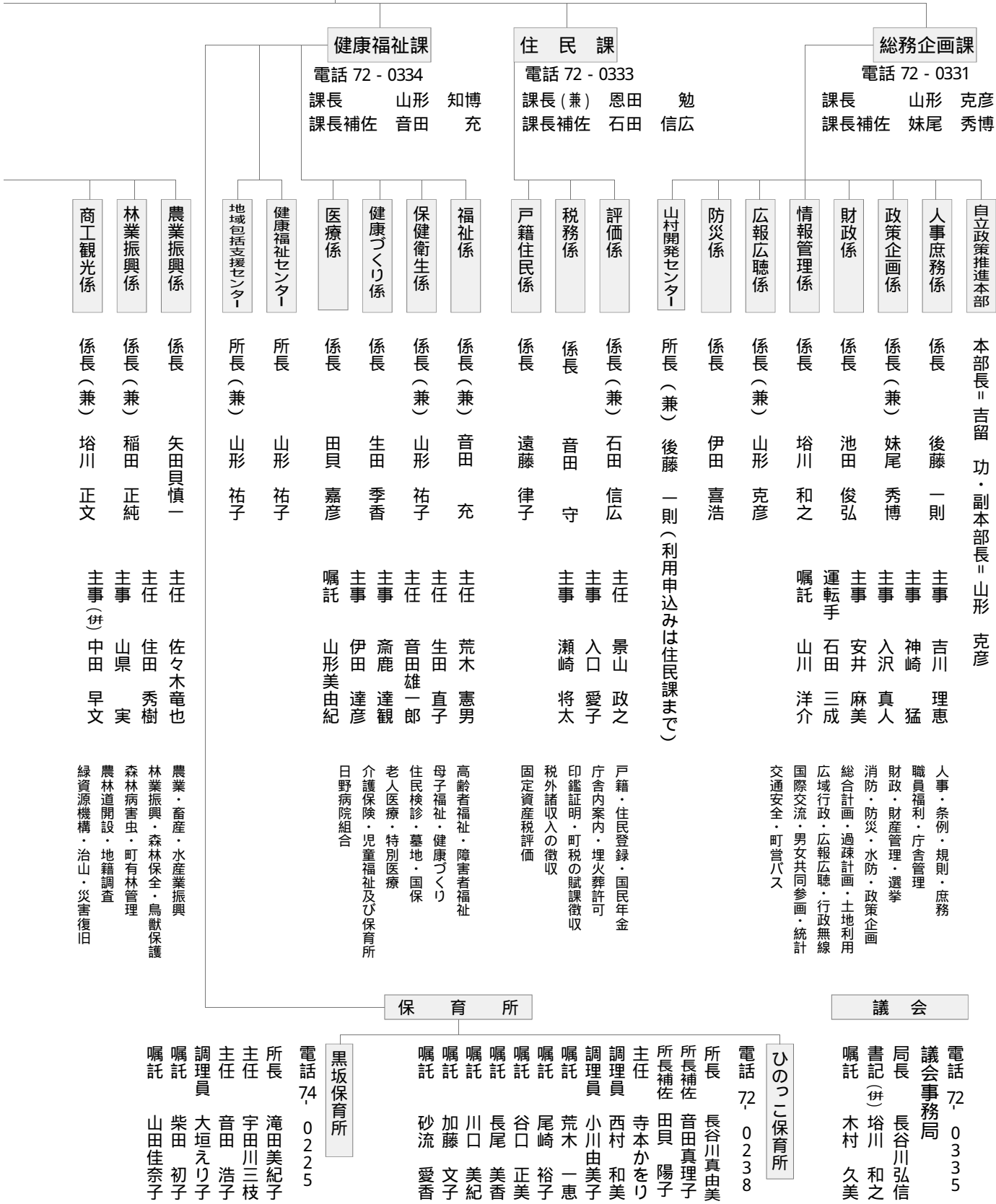
会 場 鳥取地方・家庭裁判所米子支部
日 時 5月9日（水）午前10時～午後3時
定 員 25人程度（当日受付順）
問合せ 県弁護士会（電話 0857-22-3912）
ただし、当日は鳥取地方裁判所米子支部（電話 0859-22-2205）へお問合せください。

職員の事務分担表

平成 19 年 4 月 1 日現在の役場の機構図を紹介します。
所管事務については、一部検討中のものもあります。
(兼) = 兼務 (併) = 併任

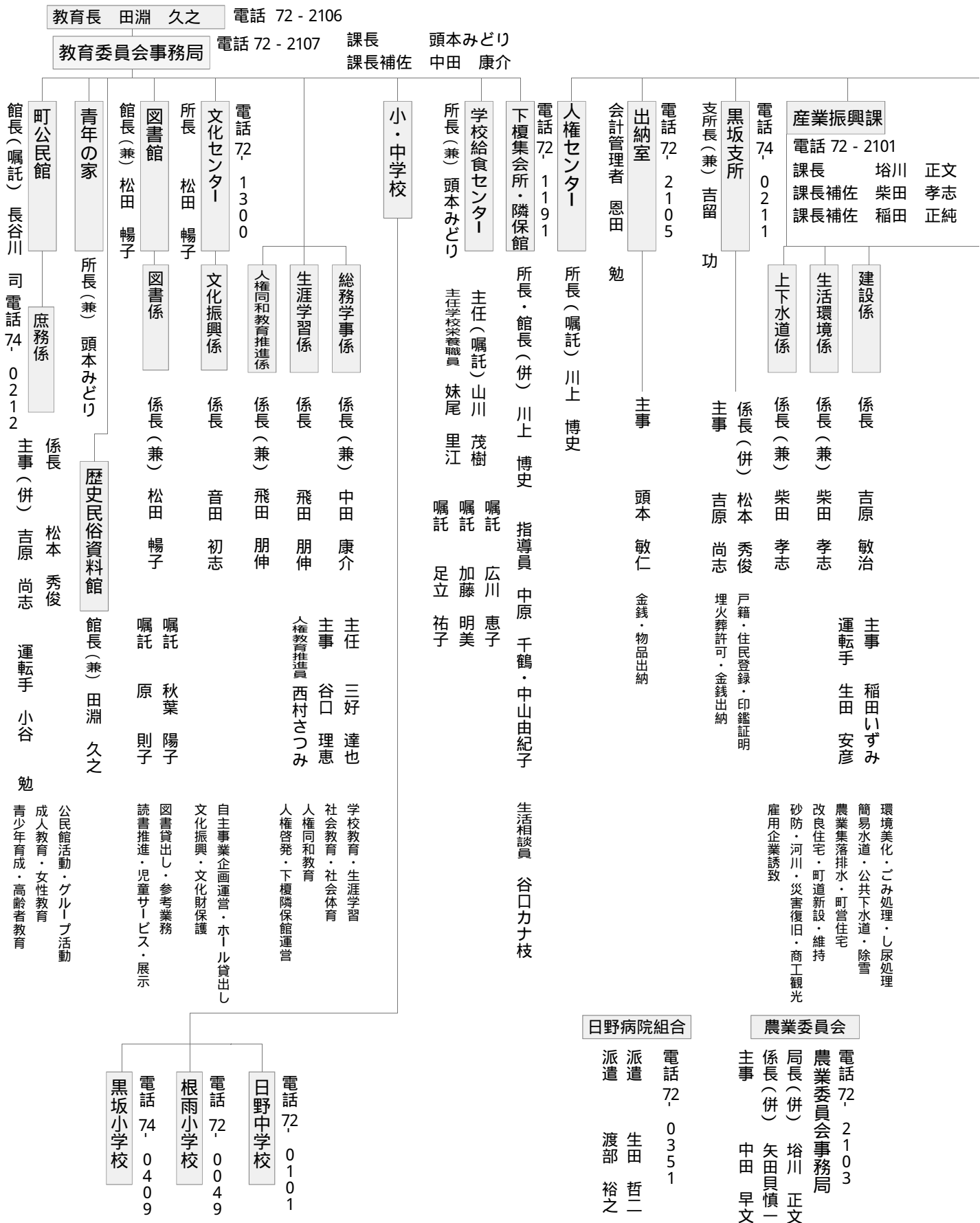
町長部局

町 長 景山 享弘 電話 72 - 0340
副町長 吉留 功 電話 72 - 2108



日野町機構図

教育委員会部局





高橋伸也さん



日野中学校男子ソフトテニス部の皆さん

まちの話題

スポーツ振興に大きく貢献

日本海新聞スポーツ大賞

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
☆役場総務企画課まで (電話 72-0331)

各市町村で昨年一年間に優秀な成績を収めた個人・団体などを表彰する「第8回日本海新聞スポーツ大賞」の表彰式が、3月14日、町役場で開かれました。今回は、最優秀賞を日野中学校男子ソフトテニス部が、奨励賞を高橋伸也さん(野田)がそれぞれ受賞しました。

日野中学校男子ソフトテニス部は、昨年7月の中学総体団体男子の部での優勝をはじめ、県内外の大会で上位入賞するなど活躍しているクラブです。キャプテンの安達健太さん(下黒坂)は、「受賞はともうれしい。ここまで来れたのは、顧問の三好先生の指導のおかげです。クラブはチームワークも良く、これからは出る試合全て優勝を狙っていきたい」と抱負を語りました。

高橋さんは、町体育指導委員として28年間活動し、現在は会長として活躍するほか、総合型地域スポーツクラブ、D.O.スポーツの事務局長として、地域のスポーツ振興に寄与されています。高橋さんは受賞について、「とても光栄なこと。長年スポーツ振興に関わってきたことが受賞につながったのだと思っています。D.O.スポーツの活動は町民の皆さんに浸透しつつありますが、今後も幅広く参加してほしいです」と語りました。



元気で育ってと願いながら放鳥

鴉の池の空に70羽のキジが舞う

小学6年生キジ放鳥体験



左からNHK村上アナ、辰巳さん、西村さん、アメリカザリガニさん

愛鳥精神と環境を大切にすることを育てようと、町内の小学6年生によるキジの放鳥体験(県日野総合事務所福祉保健局主催)が、3月22日、鵜の池湖畔で行われました。

子どもたちによるキジの放鳥は今回が初めてのこと。参加したのは、根雨小、黒坂小の6年生のうち19人で、県職員による環境やキジの話聞いた後、キジを一人一羽ずつ受け取り、鵜の池に向けて一斉に放しました。

参加した子どもは、口々に「かわいい」「暴れて大変」など話しながら70羽のキジを次々と放していました。

出雲街道の魅力を探る

辰巳琢郎さんら来町

3月20日、NHKふるさと発スベシャル「クイズとことん旧街道!」の取材のため、俳優の辰巳琢郎さんとタレントの西村知美さん、漫才コンビのアメリカザリガニさんらが日野町を訪れました。

辰巳さんらは、根雨の出雲街道や金持神社などを訪ね、また地域の人々の声に気さくに応えるなど交流していました。

この模様は、4月20日、NHK総合テレビで放映されます。



集まった資料は役場で保管する予定

平成21年の町制50周年を前に、まちの歩みや歴史を伝える記録・資料を収集・保存して後世に伝えようと、日野町「歩み・歴史」資料収集委員会（牧智也委員長）が設置され、3月28日、第1回の委員会が町役場で開かれました。

委員は、教育、歴史、行政、農林業、商工観光、生活などの分野に精通した町民12人。今回の委員会では、委員の委嘱と、それぞれの役割の確認などが話し合われました。

委員会では今後、各分野の古い資料・写真などを、まちの皆さんに提供を呼びかけながら収集することになっています。

まちのあゆみを後世へ

「歩み・歴史」資料収集委員会を設置

消防活動の躍進を願う

町消防出初式



サイレンの音とともに一斉に放水

年度始めに防火の誓いを新たにしようとして、4月1日、町消防出初式が根雨小学校で開かれました。

式では、町長表彰や消防庁長官表彰などの表彰式や町長らのあいさつが行われた後、最後に宮脇光男団長があいさつしました。

宮脇団長は、「広域消防の組織改善など、消防団もいろいろな転機を迎えている。また、8月26日には県西部の消防合同演習が日野町で行われることになっているので、総力をあげて成功させよう」と力強くあいさつし、団員の士気を高めました。

また、式典の後には、野田河川敷で一斉放水が行われ、多くの見学者も訪れました。

みんなのバスとして活用

町営バス根雨宿・病院線運行



「これからお世話になります」バス運転手へ花束贈呈

日野病院が運行していた「おしどりバス」を、4月から町営バス根雨宿・病院線として運行を始めました。

運行経路は、サンプラザ前から根雨駅・根雨のまちなかを經由し、日野病院までの3・4キロ。利用料金は、他の路線と違って、中学生以上100円、小学生50円です。

4月2日に日野病院で開かれた出発式では、景山町長が「大いにPRして皆さんに愛されるバスとして活用していきたい」とあいさつしました。

根雨宿・病院線は、おしどりバスの車両を使い、1日6往復で運行します。通院や買い物などにぜひご利用ください。

県知事に平井伸治氏が当選

4月8日、鳥取県知事選挙と鳥取県議会議員選挙が行われ、新しい知事に平井伸治氏が当選しました。また、日野郡選出の県議会議員は、内田博長氏（日南町）が無投票で当選となりました。町内の県知事選挙の結果は次のとおりでした。

■鳥取県知事選挙（日野町分）

- 有権者数 = 3,566 人
- 投票総数 = 2,361 票
- 有効投票 = 2,299 票
- 無効投票 = 62 票
- 投票率 = 66.21%

■候補者ごとの得票数（敬称略）

- 平井伸治 1,932 票（県内 232,897 票）
- 山内淳子 367 票（県内 55,768 票）

入山禁止のお知らせ
山菜採りなど注意

入山禁止・とめ山などの表示がある山林などに無断で入って山菜などを採らないようにしてください。町内にも入山禁止の区域がありますのでご注意ください。

恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者の皆さんへ

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者や、戦後、ソ連やモンゴルに強制抑留された人、終戦に伴い日本以外の地域から引揚げてきた人の「本人」に、あらためて慰藉の念を表すため、内閣総理大臣名の『特別慰労品』を贈呈しています。

過去に内閣総理大臣名の書状等を受けた人、書状等の請求をしなかった人も対象です。請求書は役場健康福祉課の窓口にあります。

請求期間は、平成21年3月31日までです。

資格要件など問合せ先 平和祈念事業特別基金（電話0120-234-933）

ホームページアドレス
<http://www.heiwa.go.jp>

退職金づくりをサポート

「中退共」へ加入を

中退共制度（中小企業退職金共済制度）は、退職金制度をもつことが難しい中小企業に、中小企業の相互共済と国の援助で退職金制度を確立することを目的としてつくられた国の制度です。

■中退共制度の特色
○国の制度なので安全・確実・有利です

○適格退職年金制度からの移行先です

○掛金を納めるだけで企業の実態にあった退職金制度を手軽にもつことができます

○掛金の一部を国が助成します

○掛金は税法上、損金または必要経費として全額非課税になります

○過去の勤務期間通算や、企業間を転職した場合などの通算ができます

■掛金の種類

月額5000円から3万円までの16種類です。

短時間労働者（1週間の所定労働時間が通常の従業員より短く、かつ30時間未満の従業員）は、2000円、3000円、4000円の特例掛金でも加入できます。

■加入の手続き

所定の申込書に記入・押印のうえ、最寄りの金融機関または委託事業主団体へ申し込んでください。

問合せ 中小企業退職金共済事業本部（〒105-8077

東京都港区芝公園1-7

6 退職金機構ビル、電話

03-3436-0151）

ホームページアドレス

<http://chutai-kyo.taisyokuin.go.jp>

2007 田んぼの学校 参加者募集！

近年、「グリーン・ツーリズム」などの、都市と農村の交流が盛んになっています。また、「食」「自分自身の生き方」などへの関心も寄せられるようになりました。

そこで、日野高等学校では昨年に引き続き自然観察などを含めたお米づくり体験イベント「田んぼの学校」を企画しました。農業に触れることが少なくなった今、皆で汗を流しながらお米づくりを通し、農業・土・自然・地域に触れ、ゆったりのお米づくりと過ごし「やすらぎ」や「うるおい」を通して「癒し」を感じていただきたいと思います。

■日時・内容

年間6回程度、第4土曜日に開く予定です。

第1回：5月26日（土）...田植え

第2回：6月23日（土）...水田除草

第3回：7月28日（土）...草刈り

第4回：8月25日（土）...稲の観察

第5回：9月22日（土）...稲刈り

第6回：10月中旬...収穫祭

時間はいずれも午前9時～お昼くらいまで

■場 所

日野高等学校実習水田

■交通手段

各自をお願いします

■参加費

無料

■準備品

長靴、サンダル、タオル、帽子、着替えなど

■申込み

5月18日（金）までに、電話またはFAXで下記までお申込みください。

■申込み先

日野高等学校黒坂施設

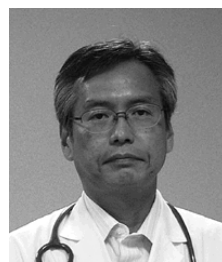
田んぼの学校担当 林原美幸

（電話 74-0011、FAX 74-0012）

お元気ですか 日野病院です

病院長のひとりごと

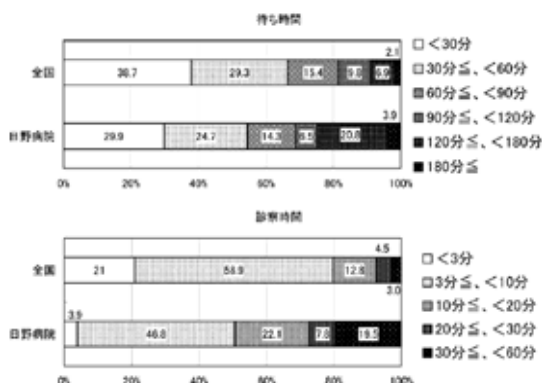
ー 外来での待ち時間についてー



日野病院長 檀田 豊

日野町のご厚意でこのコーナーが始まって以来、今回が3回目となりました。これから数回は、病院長の立場から日野病院の現状や課題、さらには将来展望などについて述べさせていただきます。

さて、以前より投書箱を通じて病院に寄せられる苦情で一番多いものが、「外来での待ち時間が長く、苦痛に感じる」というものです。その対策として私も、診察の時間予約制の導入、診察中の患者さんの受付番号表示、自動再来受付機の設置、急患あるいは急変患者対応時のアナウンスなどを実施してきました。しかし、本年1月に構成3町で実施したアンケート調査でも、住民の皆さまから同じような苦情を多くいただいております。この問題の克服がいかに難しいかを痛感して



います。ところで、日野病院での待ち時間は実際どのくらいなのでしょう。平成17年5月から6月にかけて行った私どもの調査では、全体の待ち時間は平均93分(約1時間30分)であり、その大部分は診察前のものでした(約1時間20分)。日野病院の診察前の待ち時間を、厚生労働省の「平成11年受療行動調査の概要」に記載されている全国の病院の待ち時間と比較してみました。図の上に示しまし

たように、全国の病院の待ち時間は60分未満が68%、60分以上が32%でした。一方、日野病院の場合には60分未満が55%、60分以上が45%であり、全国の病院に比較して長時間待つ患者さんの割合が若干多くなっていました。

この結果は、一見日野病院の待ち時間短縮に対する努力不足を意味しているようですが、そうとは言い切れません。図の下は日野病院と、同じく「平成11年受療行動調査の概要」に記載されている全国の病院で診察時間を比較したものです。

全国の病院の場合、外来患者さんの80%は10分未満であり、10分以上が20%でした。一方、日野病院では10分未満が50%、10分以上が50%であり、診察時間の長い患者さんの割合は明らかに全国の病院より多くなっていました。

診察時間と待ち時間はしばしば二律背反の関係にあることから、日野病院における待ち時間の短縮は一朝一夕には解決し得ない問題であると言わざるを得ません。従って、現在、私もどもはむしろ待ち時間が長い引いたために生じる不快感の解消を当面の目標としています。具体的には、本年3月から診察医ごとに診察の順番を表示するようにしました。また、お気づきの方もあると思いま

すが、外来ホールでのBGM放送を開始しました。さらに、予測待ち時間の表示、コンシェルジュ機能の強化なども考えています。

日ごろ日野病院をご利用いただいている患者さんには待ち時間の問題で多大なご迷惑をお掛けしており、この場をお借りして心からおわび申し上げます。私どもは今後ともこの問題に積極的に取り組んでいく所存ですので、どうぞご理解の程お願いいたします。



4月1日付で、山本武史さん(下黒坂)が行政相談委員に再委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣が、社会的信望があり、行政運営の改善に熱意がある民間有識者の中から委嘱しているもので、その仕事は、国の行政に対する苦

情などの相談窓口になり、相談者への助言や関係行政機関に対する通知などを行い、苦情などの解決を図っていくことです。

なお、山本委員は、定期的に行政相談所を開設し、皆さんからの相談に応じています。

相談は無料で、秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

■行政相談所は、毎月1回、山村開発センターと町公民館で交互に開かれます。次回は5月9日(水)午前9時～正午まで、会場は山村開発センターです。

行政相談委員に山本さんを再委嘱

■ 5月12日は「看護の日」

看護師と一緒に看護体験や病院食試食など、看護体験してみませんか！

日時 5月12日(土)
午前9時～午後0時30分頃
問合せ 日野病院看護局(電話 72-0351)
影山または近藤まで

日野町公民館だより

編集 日野町公民館

〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

第3回公民館運営審議会

3月27日に町公民館で第3回町公民館運営審議会を開催しました。内容は平成18年度町公民館事業状況について、おしどり学園、地域子ども教室（町公民館共催）、公民館まつり、小学生ふるさと教室、公民館ロビー展などの事業を行ったことを報告しました。

次に平成19年度町公民館事業計画では、新たに地域子ども教室推進事業を人材バンク、各団体（グループ）、ボランティア、関係機関などと連携しながら実行委員会を設置、創意工夫しながら事業を行うことを確認しました。

また、史跡再発見事業（町公民館共催）として黒坂城跡を整備し、関係者と連携を図りながら日野町の歴史を町民、子どもたちに学習の場として提供することにし、アンケート調査を町民のニーズを把握するために実施。意見交換会を各団体と行い、公民館まつりなども計画していることを説明しました。

委員からは、「子どもの参加が少ないのは部活動などで忙しい。休みの日があってもよいのではないか。地域活動に参加できる見直しをしてはどうか。」「ボランティアガイドの育成が必要」などの意見が出されました。



公民館まつりをにぎやかに開催（18年度）

ながら対処していくことが大事だと思います。公民館は皆様の生涯学習の拠点として、地域づくりのひとつの核として楽しく学んでいただくところです。また、公民館の学習講座、グループ活動などに参加されることにより新しい出会いがあり、交流があり、仲間づくりが出来ます。公民館に求められるニーズを把握しながらより良い公民館を目指して、皆様に積極的に参加・利用いただけるようにしたいと考えておりますので、職員一同よろしくお願い申し上げます。



長谷川司公民館長就任あいさつ

このたび、4月1日付で日野町公民館長を任命されましたのでよろしくお願い申し上げます。

さて、皆様もご承知のように近年、日常生活のなかでも少子高齢化、環境、人権、食の安全など様々な問題がおこっています。このような時代にあつて、私たちの暮らしを守り、健康で生きがいのある生活をおくるためには、日々向上心をもって学び



学園生に修了証

「おしどり学園閉講式」

学園生を代表して瀬田寿幸さん（写真右）に修了証

3月22日、平成18年度おしどり学園の閉講式が町公民館で開かれ、学園生65人に修了証、10人に皆勤賞が贈られました。

閉講式後の記念講演では「心の笑顔」と題して、泉龍寺住職の三島道秀さんが日常生活の中で「命の大切さを大人は子や孫に伝える」、「大人は悪い見本を子どもに見せている」、「親子のコミュニケーションを図ることが大事」などとユーモアを交えながら話され、学園生も真剣に耳を傾けました。

第2回子ども居場所づくり実行委員会

3月22日に町公民館で第2回子ども居場所づくり実行委員会を開催し、平成18年度地域子ども教室推進事業や決算について報告しました。

事業を行ったうえで良かった点として、委員からは「自然とふれあい、物を作る楽しさなどの体験ができた」「地域の方と子どもたちのふれあいの場が持てた」「地域の方の指導を受けるイベントなどに積極的に参加することで社会性を醸成するこ



自然体験活動などを行いました

とができた」「活動に対する目的意識を持たせることができた」「作ったものと人とのかわりを大切にすることができた」などが挙げられました。

また、問題点として、子どもの参加人数の減少、保護者の関心が低い、人材の育成、参加者にとって楽しいメニューの開発が必要などが挙げられました。

今までの事業で効果のあったものについては今後も継続しておこなうこととし、平成19年度以降の地域子ども教室推進事業は保護者の関心を高める、子どもたちに

も興味のある内容、地域住民も参加できる内容などを計画し、人材バンク、各団体（グループ）、ボランティア、関係機関などと連携しながら実行委員会を設置、創意工夫し行うことを確認しました。

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会に寄付

このたび、青少年の健全育成、子どもたちの安全・安心な地域づくりに役立てていただきたいと、松村譲さん（秋縄）から寄付をいただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



左から松村さん、山本武史会長

■町公民館ロビー展

「平成18年度子ども居場所づくり事業写真展」開催中です
※4月30日まで

「小早川凡親さん絵画展」

※5月8日～31日まで

場所は町公民館ロビーです。どうぞご覧ください。（展示時間：午前8時30分～午後5時30分）

※ロビー展出展者を募集しています。出展を希望する人は、町公民館までご連絡ください。

■町公民館職員体制

4月1日付の人事異動で町公民館の職員体制が変わりました。よろしくお願いします。

町公民館長

長谷川 司

同係長（黒坂支所兼務）

松本 秀俊

同主事（黒坂支所兼務）

吉原 尚志

同運転手

小谷 勉

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

- 使用できる日：年末年始（12月29日から1月3日）を除く日
- 使用できる時間：8時30分から22時まで
- 料金：町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後6時まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

おしどり学園開講式のご案内

日時 4月27日（金）9：30～

場所 町公民館

- 内容
- 運営委員選出、年間計画協議など
 - 開講式
 - 記念撮影、町長との懇談会など

詳しくは町公民館までお問合せください

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



あたら
新しい体制になりました

よろしくお願いします

2007年度は、隣保館・集会所に加えて、新しく人権センターが設置され、広く人権について学んだり、実践することになりました。次の職員で頑張りますので、ご協力とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

職員紹介

下榎隣保館長・集会所長（兼人権センター所長）

川上 博史

下榎隣保館・集会所指導員（兼人権センター指導員）

中原 千鶴、中山由紀子

生活相談員

谷口力枝

人権教育推進員

西村さつみ

隣保館・集会所の主な事業・業務

- ・隣保館だより発行
- ・各種学習会・講座
- ・各種交流会
- ・囲碁・将棋大会
- ・解放文化祭
- ・生活相談業務

など、広く地域や住民の皆さんがたくさん参加しやすい、楽しい活動にしたいと思います。また、休日も開館していますので、どうぞお越しください。

「寝た子を起こすな」

「寝た子を起こす」という言葉を聞いたことがあるかと思ひます。

せっかく収まっている事に柄に手出しをして、またまた問題をひき起こすたえです。

部落問題についてもこの言葉を使われることがよくあり、小地域座談会で聞くこともありました。

黙っていれば部落問題を知らずに済むのに、どうして同和教育をするのかと疑問視する人も少なくないと思ひます。

差別からの解放は、現実の差別的な正確な認識から始まるもので、「寝た子を起こすな」は差別的な隠ぺいになるのではないでしようか。

部落問題だけではなく、全ての差別についても、正しい認識を持つことが差別解消につながると思ひます。

町内の小中学校でも、それぞれ人権学習を人権主任の先生をはじめ、熱心に取り組みられています。

また、榎の実学習会地区の小中学生の学習会では、将来ある子どもたちが差別に負けない力を養うため、

教科学習、人権学習をそれぞれ週1回行っています。

人権は、一部の人の問題や努力ではなく、町民全体が考え進めなければならぬことです。たれもが、いたわりや慈しみの心で、明るく笑顔で過ごせるよう皆さんと一緒に学び行動をしていくことが大切です。

- ご利用ください 隣保館・集会所・老人憩の家を、子どもからお年寄りまで地域にこだわらず気軽に活用いただき、交流を広めていきたいと思ひます。施設を利用したい人は、隣保館にお問合せください。
- ご相談ください 皆さんの困りごと・悩みごとを、生活相談員をはじめ、職員が関係機関と連絡を取り、問題解決に取り組めますのでご相談ください。相談者の秘密は固く守られます。
- ご意見などお寄せください 今後の隣保館活動に取り組んでいきたいと思ひます。小さなことでもかまいませんのでお寄せください。

はばたこう、感動の舞台へ
第6回町民ミュージカル
出演者・スタッフ募集



前回公演「けい太の見た夢の中」より

- 公演予定 12月16日(日) 昼・夜2回公演
- 募集内容 町民ミュージカルの出演者
スタッフ(演出・指導助手、大道具、小道具、衣装、メイクほか)
- 募集条件 小学校2年生以上の人(スタッフは高校生以上の人)
6月～12月の本番まで毎週金曜日(18:30～20:30)と、毎月1～2回の、土曜日・日曜日のレッスンに参加できる人(出演者)
練習場への交通手段は各自でお願いします。
レッスン料=1か月1,000円(1世帯2人目からは、1人あたり500円)の負担をお願いします。
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、5月20日(日)までに(必着) 町文化センターまで提出してください。

「町民ミュージカルを応援する100人の会」会員募集

- 会費 1口3000円
- 会員の特典
12月16日(日)の公演当日のチケットを1枚(昼・夜公演のいずれか)、無料で確保します。
「ミュージカル通信」により、練習の様子などをお知らせします。
公開レッスン、公演前日のリハサルをご覧いただけます。
●入会申込み 町民ミュージカル実行委員会(町文化センター内)までお申込みください。
●その他 金額自由の資金カンパなども受付けています。差入れや当日のお手伝いなどの参加も歓迎。お問合せください。

■公募作品の入選該当作はありませんでした

平成18年度に日野町にまつわる題材でストーリー原案を公募したところ、町内から7作品の応募がありましたが、慎重に検討した結果、今回は残念ながらミュージカルとして採用するに至りませんでした。応募された7作品にはお礼の気持ちを込めて参加賞を贈りました。

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

5月

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	③	④	⑤
6	7	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	23	24	25	26
27	28	㉑	30	㉓		

図書館の展示コーナー

佐々木恭三さん

武者絵展

5月2日(水)～
30日(水)

●図書館おはなし会

5月19日(土)10:00～

場所：図書館絵本コーナー

■「ピクニックの絵本」わらべうた、かみしばいなど(無料)

●木のおもちゃづくり

5月20日(日)9:30～

場所：図書館車庫

■こいのぼりの組み木やパズルなどをつくります(材料費実費)

●サイエンスアカデミー講座

5月26日(土)10:30～

場所：図書館資料コーナー

■テーマ：未定

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時 間	内 容
9：00～11：00	受付（随時受付しています）
9：00～	絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）ふれあい遊び（わらべうたなど）
9：30～	一斉活動
10：00～	外遊び（雨天時：室内遊び）
10：40～	片付け・ティータイム（各自持参）
10：50～	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11：00～	あいさつ（終了）

青空と心地よい風の中、新年度が始まりました。

3月は町公民館に出かけ、ひなまつり会をしました。また、散歩をしながらつくしなどの「春」も見つけました。

5月は外で伸び伸びと遊びましょう。

23日は町公民館で開きます。お友だちを誘って遊びに来てください。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田

（電話 72 - 0238）

● 5月の予定

5月2日（水）：外遊び

5月9日（水）：折り紙遊び

5月16日（水）：図書館おはなし会（9：10～）

5月23日（水）：わらべうた遊び（町公民館）

5月30日（水）：外遊び、保健師による子育て相談

入学おめでとう

4月、小学校に入学した新一年生を紹介します。（50音順）

■ 根雨小学校

生田桃佳さん、生塩実優さん、遠藤里奈さん、
景山大地さん、川上純怜さん、柴田和輝さん、
白根姫花さん、瀬田優香さん、高橋美華さん、
長住杏音さん、名越千紗さん、橋本 愛さん、
藤原由樹さん、松本竜輝さん、宮崎 唯さん、
宮田夏実さん、宮脇優花さん、山田翔大さん

■ 黒坂小学校

稲田風花さん、恩田晃妃さん、金川大空さん、
金川黎美さん、久代 倫さん、坂本亜依麻さん、
竹尾桃花さん、谷口綾花さん、長尾和馬さん、
西田一生さん、花倉真紀さん

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

雛のうた聞けば父母なつかしき講師（谷 悦子）
やさしさは風荒ぶとも木の芽立ち 安達つるゑ
猫柳生けて初心を忘れずに 荒木 習子
五つ六つ地卵もらう梅日和 勝瀬 京子
落の臺のみなざる力地を破る 川上 文子
まんさくや高速道のつきし村 久城 霞溪
早々と雛を納めて旅仕度 徳本千鶴子
針運ぶ手許そこはか日脚伸び 真壁富貴枝

（五十音順）

編集後記

■ 西村孝美さんには、木工品にける意気込み・苦労など多くお話しただき、改めて手づくり品のもつ温かさを実感しました■「広報ひの」もある意味手づくり。皆さんにも何かを感じていただきたいな（i）

3月届出分		4月届出分	
（氏名）	（年齢）	（氏名）	（住所）
長尾 市男	91歳	黒田 永子	上菅 黒坂
藤原 光男	87歳	清水 憲路	
稲田 俣	79歳	西村 進	
鷺見 茂	82歳	横田 功	
横田 茂	91歳	黒田 上菅	
黒田 永子	84歳	下樓	
黒田 永子	81歳	黒坂	

おくやみ

ご冥福をお祈りします

（出生児）
3月届出分
牧野 桃子
石田 萌
（保護者）（性別）（住所）
正也・サト子 女の子 下樓

赤ちゃん誕生
おめでとうございませう

届出 3月11日～4月10日 敬称略

3月31日現在

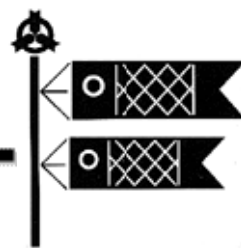
わたしの町

（前月比）

人口 4,173人（-12）
男性 1,947人（-11）
女性 2,226人（-1）
世帯 1,552戸（-5）

5 月の 暮らしのカレンダー

MAY (皋月)



健康づくりのヒント

生活の中で運動を、健康寿命を延ばしましょう。

食事の前にイスから立ち上がる運動を10回ずつ行うだけで効果がありません。

1 火	軽自動車税納期限 乳児健診・BCG予防接種 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 法律相談 開発センター 午後1時～ 申込み：町社会福祉協議会（74-0338）4月27日〆切
2 水	木曜日の地区の可燃ごみを収集します
3 木	憲法記念日（可燃ごみの収集は休みます）
4 金	みどりの日（可燃ごみの収集は休みます）
5 土	こどもの日
6 日	
7 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時
8 火	歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付：午前9時30分～午前9時45分、午後1時～午後1時15分
9 水	行政相談 開発センター 午前9時～正午 不燃ごみの収集日（全町）
10 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
11 金	
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	3歳児健診 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分
16 水	資源ごみの収集日（全町）
17 木	
18 金	

19 土	
20 日	
21 月	
22 火	町農業委員選挙告示
23 水	古紙の収集日（全町）
24 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
25 金	
26 土	
27 日	町農業委員選挙投票日（予定）
28 月	
29 火	
30 水	ペットボトルの収集日（全町）
31 木	固定資産税1期分納期限

ミニギャラリー情報

（町内の展示コーナーを紹介します）

- 日野病院展示コーナー
「そばの花フォトコンテスト写真展」開催中（展示希望の方はご連絡ください）
- 山陰合同銀行根雨支店
「深田尚美さんパッチワーク展」
5月14日～6月18日
- 蔵美術館
「徳岡信子さん油絵展『農村の原風景』」
4月28日～5月28日
- 県西部地震展示交流センター
「豪雨水害と土砂災害、被災地支援活動写真展」
5月8日～7月27日

直通電話 総務企画課 72-0331 住民課 72-0333
産業振興課 72-2101 黒坂支所 74-0211
農業委員会 72-2103 教育委員会 72-2107
地域包括支援センター 72-1852 ひのっこ保育所 72-0238
役場代表番号（夜間・休日） 72-0331

出納室 72-2105 健康福祉課 72-0334
公民館 74-0212 議会事務局 72-0335
文化センター 72-1300 給食センター 72-1167
黒坂保育所 74-0225 下榎集会所 72-1191

町長の定期便

第13回

新たな気持ちで一年をスタート

待ちわびていた春が来ました。桜も満開となり町じゅうが花盛りとなっています。

この時期は入園式、入学式と年度始めのいろいろな行事があります。今日は、黒坂、ひのつこ保育所の入園式に参列しました。黒坂保育所22人、ひのつこ保育所は67人、合わせて89人のお子さんでにぎやかな式となりました。少子化が進む我がまちにおいては、夢を託す大切な子どもたちです。地域の皆さんのご支援をいただきながら、すくすくと成長してくれることを願っています。

さて、春といえば人事異動のときでもありません。まちにおいても恒例の定期異動を発表しましたが、今回は最低限にとどめました。厳しい財政を確実なものにするためにも、職員一人一人が与えられている仕事を確実にこなし、まちの皆さんの期待に応えていくことを第一と考えたところです。また、3月末に3人の退職者があり、現職員数は63人になりました(条例定数は80人)。限られた人数で仕事を進めてまいりますのでよろしく願います。

平成19年度の予算も4月からのスタートです。3月議会で承認いただいた一般会計28億円、特別会計22億円、合計約50億円の予算規模となり、絞りきつたものとしています。まちの貯金である基金1億6千万円は温存し、約1億7千万円の赤字を見込んでいます。1年かけて収支の改善に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(4月3日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ③⑧

おからを使ったヘルシーメニュー
おろしソースでさっぱり味に



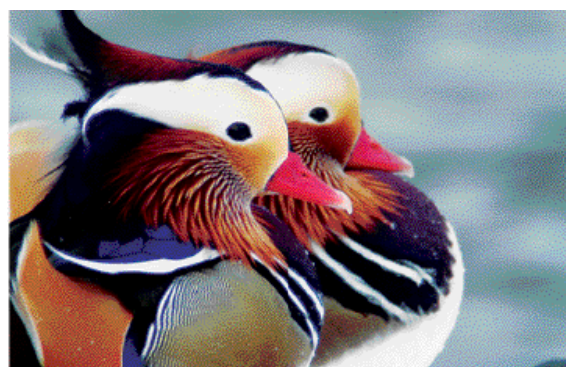
おからのメンチカツ

【材料】4人分

●おから(80g) ●豚ひき肉(150g) ●玉ねぎ(150g)
●にんじん(30g) ●干しいたけ(2枚)
●青ねぎ(15g) ●卵(1/2個) ●塩、こしょう(少々)
●調味料【しょうゆ(小さじ2)、酒(小さじ2)、砂糖(小さじ1)】 ●衣【小麦粉(大さじ1)、卵(1/2個)、細かいパン粉(20g)】 ●おろしソース【大根おろし(200g)、しょうゆ(大さじ1.5)、酢(大さじ1.5)】

【作り方】

- ①豚ひき肉に塩、こしょう少々を加え、粘りが出るまでよくこねる。
- ②玉ねぎ、にんじん、水で戻した干しいたけはみじん切りにする。青ねぎは小口切りにする。
①におから、切った野菜、卵、調味料を加えてよくこね、8等分して空気を抜きながら小判型にまとめる。
- ③に小麦粉、卵、パン粉の順に衣をつけ、中温(約170℃)の油で揚げる。
皿に盛り、おろしソースをかけていただく。



『風のいたずら。リーゼントだ』
撮影 ● 玉田 隆さん(広島県福山市)

「先日の8日間、根雨滞在中はお世話になりました。皆様の温かいもてなしを受け嬉しく感謝しています。根雨のオシドリは日本一だと思っています。今まで愛知県設楽町や東京明治神宮など10か所ほど訪れています。根雨には日参することになりそう。これは、3週連続で来町された石川県金沢市、森さんの便り。能登半島沖地震被害はないとのこと。ホッとしました。心よりお見舞い申し上げます。

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田(電話72 0271)

わあーい。日本一
オシドリ
にゅーす

VOL. 110

